

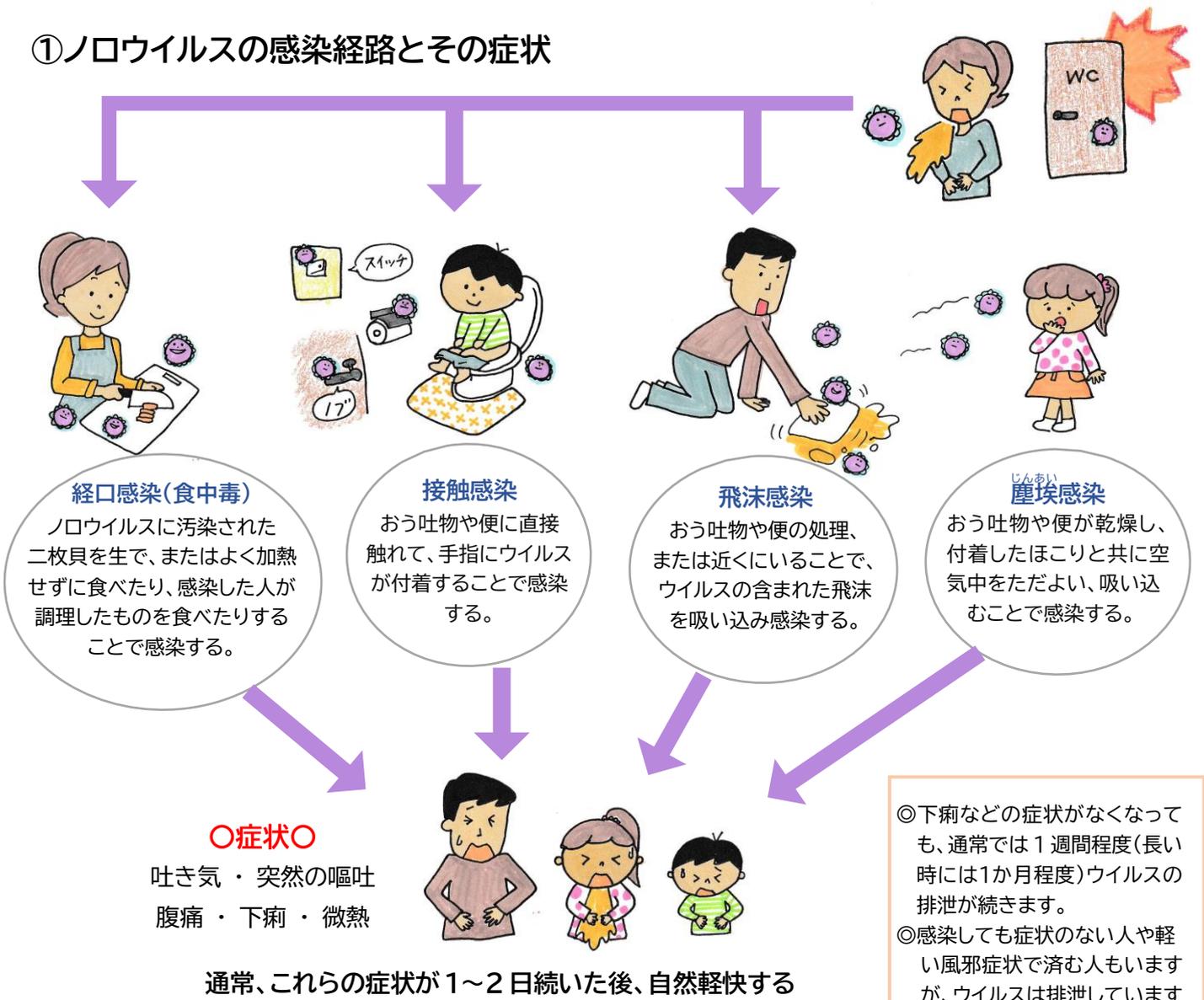


みどりっこは、お子様が病気やケガなどで、保護者の方がご家庭で看病ができない時など、お子様の症状や体調などに合わせて回復に早く向かえるように専任看護師・保育士が保育看護を行い、1日を安心・安全で快適に過ごしていただく医療機関併設型の病児保育室です。

秋から冬にかけて流行するノロウイルス感染症のお話し

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋…楽しみの多い季節がやって来ました。この時期はノロウイルスによる感染性胃腸炎も増加し始めます。ノロウイルスの特徴や家庭での感染対策を知ること、予防や家庭内での感染拡大防止につなげていきたいですね。

①ノロウイルスの感染経路とその症状



持病のある人
乳幼児
高齢者など



脱水症状を起こしたり、症状が重くなったりするケースもあるので注意が必要です

日頃の手洗いや適切な便の処理が大切です

②ノロウイルスが身近で発生したら・・・

石けんと流水による手指衛生が有効

石けんが手の脂肪などの汚れを落とし、ウイルスが手指からはがれやすくなる



石けん手洗いの後に20秒以上のすすぎをして、ウイルスを洗い流す

ノロウイルスには塩素消毒！ アルコール消毒は効果なし！

- ・食器や環境などの消毒をしましょう
- ・調理器具は、洗剤などで洗浄した後に、塩素消毒液に浸して消毒するか、熱湯(85℃以上)で1分以上加熱する
- ・おう吐物や便の処理の際に二次感染をしないように対策をしましょう

③おう吐物などの処理方法

準備するもの

- ・使い捨てマスク
- ・使い捨て手袋(3組)
- ・エプロン
- ・ペーパータオルや新聞紙
- ・ビニール袋 2枚
- ・ペットボトル(500ml) 2本
→水用と消毒液用
- ・塩素系漂白剤

☆塩素消毒液の作り方(市販のキッチンハイターやハイター、ブリーチ)

消毒するもの	必要な濃度	水	原液
便や吐物が付いた床 おう吐物やおむつの処理	1,000ppm	500ml	ペットボトルキャップ 2杯
食器の消毒 トイレの便座・ドアノブ・床など	200ppm	1L	ペットボトルキャップ 1杯

事前にセットしておく、いざという時焦らずに済むのでおすすめ☆



キャップにきりなどで穴を開けると使いやすい

①処理する前の準備

- ・処理する人以外は離れる(できれば別室へ)
- ・マスク・手袋・エプロンを付ける
- ・塩素消毒液を作る(1,000ppm)

②おう吐物が乾燥する前にペーパータオルや新聞紙などで覆いかぶせる



おう吐物を中心に広い範囲で覆う

③塩素消毒液を②の上からかける



④ビニール袋2枚を広げて準備し、おう吐物を外側から内側へすくい取る



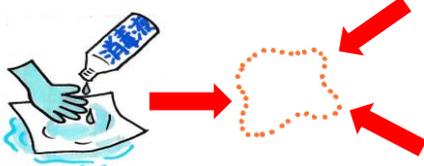
⑤おう吐物を1枚目のビニール袋に入れて密封する



⑥2枚目のビニール袋に⑤と手袋を入れ、新しい手袋を付ける



⑦おう吐物の付着していた場所を塩素消毒液で、外側から内側へ浸すように拭き取る



⑧使い終わったキッチンタオルや手袋などは⑥のビニール袋に入れて密封する



⑨手袋を交換してキッチンタオルで水拭き→乾拭きする

⑩換気はおう吐物の処理が終わってから行う(室内への拡散防止のため)

⑪石けんを使って丁寧に手を洗う